

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	ビジネス日本語 I		( NKT14B )
講義名 (コード)	ビジネス日本語 I B		( NKT14BB )
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	田中 清夫	時間数	30
成績評価教員	田中 清夫	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	ビジネスの中で実際に使える表現、仕草などができるようになり、場面に応じて応答と会話ができるようになること。
全体的内容と概要	基本動作・表現を学ぶ。挨拶、紹介、電話対応、実務での仕事の前に知っておく常識を習得する。
授業時間外の学修	アルバイトなどの実際の生活で、学んだことを生かして実践する。逆にお客様やビジネスの場で経験したことを使って知識を定着させる。
履修上の注意事項等	敬語を含めて、日本語を学んだことが分かるような表現を身につける

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーションと自己紹介。自己紹介ができる。入社挨拶ができる。	授業参加者が相互に知り合える。ビジネス日本語の必要性和進め方の説明。自己紹介の表現を習得する。
2		挨拶の基本形を学ぶ。グループ学習をして、他己紹介と入社挨拶をロールプレーする。
3	特別な形の敬語が使える。会社で担当者交代の挨拶ができる。	自己紹介の後、付加価値の敬語を練習する。担当者交代のロールプレーをする。 □ □
4	場面にあったあいさつができる。	どんな挨拶があるか例文を学習する。あいさつの場面を想定してグループで挨拶内容を検討して、ロールプレーとして発表する。
5		表現と言葉を覚える。ロールプレーで仕草を含めて定着させる。
6	表現：・ものですね、・・が・・だからが使える。	意味と場面を理解して、グループ学習で練習する。仕草を覚える。敬語の復習をする。
7	電話対応ができる。	電話のチャートの説明。特別な用語の説明と例文の練習
8	電話対応メモが作成できる。（電話対応メモの内容を把握する）	場面を設定して、グループワークで練習してから発表する。メモの形式を説明して記述方法の例を示す。
9	電話対応メモが作成できる（実際に記入作成する）	ロールプレーで、場面と会話内容を指定して、実際にメモを作成する。メモの内容を表示して実例で学ぶ
10	仕事で注意を受けた時に反応できる（言葉と仕草を理解する）	注意する時に使う表現とあやまる時に使う表現を練習する。謝る時に注意する仕草を理解する。ロールプレーで習得する。
11	アドバイスを受けた時に会話ができる	注意される場合とアドバイスを受ける場合の場面の異なる設定で、ロールプレーを通じて言葉と話し方の違いを習得する。
12	お客様からの苦情の電話に対応できる	お客様からのクレームに対して、ロールプレーを通じて、対応する話し方を習得する。
13	これ迄の授業の総復習	ここまでに出てきた語彙、表現の復習。各項目のロールプレーを行なって学習内容が身についていることを実感する。
14	まとめと解説	テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ビジネス日本語30時間
参考文献・資料等	必要資料は都度配布します
備考	